

## 「今を生きる」

校長 高田 晶子

桜の開花の便りが届き、日差しも心もやわらかく感じる季節となりました。早いもので、一年間の終了の時期を迎えようとしています。令和4年度もコロナ禍での教育活動に、保護者や地域の皆様方には多方面にわたりご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて、今月は、今年度のまとめとして「今を一生懸命生きる」ことについて考えてみたいと思います。卒業、進級の時期に、共に考えていきたいテーマの一つです。「今を生きる」という言葉は、以前に映画にもなり言葉としては、記憶にある方もいると思いますが、この、「今」とはどこを指すのかということから考えてみたいと思います。

先日、NHKの番組、ヒューマンクエストQの中で「時間」について取り上げていました。その中で、「今」はどこを指しているのかということ、「過去と未来ではないその間の0.1秒くらいが今と考えられる。」「過去と未来のために今がある。」ということが話題になっていました。0.1秒は、普段の生活の感覚では、瞬間としか言いようがありませんが、その瞬間、瞬間をいかに大切に生きて、繋いでいくかということに、大変興味を持ちました。未来に向かっては前進するのみですが、今が0.1秒ですから、私たちは、絶えず前進しながら生活をしているということになります。「今」を過ぎたことは過去になり、どんどん経験として積まれていくわけです。

学校では、授業時間のまとめや帰りの学活で一日の生活の振り返りをしています。そして、その記録を後から読み直すと、必ず学びがわかり、大切な経験値として残るからです。このように考えていくと「今」は、未来も過去も繋がっているため、切り離すことができないこともわかります。

「今を一生懸命生きる」ことを具体的に言うならば、「行動する」ことになるでしょう。行動しなければ、空白の「今」が繋がってしまいます。過去に何があったのか、学びは何かわからないままになってしまいます。学校生活で行動を起こせば、経験値となって学びが生まれます。

学校や地域社会は、人が集まる場であり、行動を起こすには最適の場です。「今を一生懸命生きる」ために、未来のために頑張れたり、過去からの学びを生かして「今」を行動できたりするからです。

これからも、「今を一生懸命生きる」大切さを伝えながら、学びのある日々を過ごしてほしいと願います。

3年生の保護者の皆様には、元郷中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後は、地域から元郷中学校を見守っていただければ幸いです。3年間本当に有難うございました。